



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

2016.11.24 No.1444

ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144

①「都内で11月に積雪か!？」の天気予報にびっくり。
11月22日早朝に、福島沖でマグニチュード(M)7.4の地震があり、津波が発生しました。私達も、1分ほど、ゆくりとした横ゆれを感じ、寝床のことが心配になりまね。
②今週号は、「北区新年度予算要望を共産党が提出」です。

**医療、介護、子育てからまちづくりまで
区民のねがい、実現と405項目**

③22日の朝、日本共産党北区議員団は、花川区長に「2017年度(H29)北区予算編成に関する要望書」を提出しました。④要望書の内容はこの間、区内で活動している諸団体や各界の方々、また日常の生活相談などで寄せられた区民のねがい、要望を、9つの柱405項目にまとめたものです。⑤さがら区議団長のあい



2016.11.07

銀杏 ことしも、桐ヶ丘バザー(12/11) 40回目。桐ヶ丘E集会所で

むかご ⑥先日のお食事会。いただきました。ヤマノイモの葉のつけ根にできる珠芽。(零余子) 食べると、里芋のように感じまね。

さつにつき、山崎たい子区議団幹事長が重点項目を説明。⑦ついで、9名の区議がそれぞれ地域の課題を中心に要望した。

**保育園増設や
特定整備・道路など
そね都議も要望区長**

⑧同席したそねはじめ都議は、東京都が保育園増設に向け大型の補正予算を組んだことを紹介し、「北区においても、認可保育園の大幅定員増に向けて、ご努力をお願いしたい」とのべました。

そねはじめ都議とともに、党区議団が区長に予算要望



花川区長(右から6人目)に予算要望書を提出する、そねはじめ都議(左から5人目)と北区議員団議員団 =11月22日

都市計画道路事業について
「住民の声をしっかり聞き、納得の得られないものは、中止、撤回を都に求めていただきたい」とそね都議

24日から、区議会が4定例会がはじまりました。

⑨前号でもご紹介しましたが、今議会の焦点となる議案の2つは...

**赤羽区民事務所が南口に
赤羽エコ広場館と場所の交換**

⑩そのため、区民事務所は来年2月13日に、新しい場所(南口のシルバー人材センターなどと同じ)に移ります。⑪年末から一時休業となるエコ広場館は、4月にオープン予定です。

「保育園児が増え、小中学校では、教室不足も心配されている。桐中地域の小学校と統合するのは見直すべき」と、さがら区議

12/20日 稲中の旧校舎を活用した防災訓練がおこなわれました。
※稲中を建てかえるため、今は旧岩瀬小に、仮移転しています。

区長に提出した、党区議団の新年度予算要望書から

269、旧北園小学校跡地での区立シルバーピア、(仮称)特養ホーム・保育園の新設工事後、近隣住民の要望にもとづき家屋の現状復帰、区道の通行、道路や側溝、電柱の改修、ガードパイプ設置などをおこなうこと。

263、UR(旧公園・都市再生機構)賃貸住宅については、以下の点を国、関係機関にはたらきかけること。

- ① 数次にわたり議会に提出された赤羽台、王子五丁目、豊島五丁目団地自治会の陳情採択により、都市再生機構に提出された「要望書」の実現、とりわけ家賃については値上げ前に戻すこと。
- ② 居住者の生活実態を直視し、住宅セーフティネット法、都市機構法付帯決議などを厳守し、その他諸事項の実現をはかること。また、機構賃貸住宅を公共住宅として継続発展させること。
- ③ 災害、緊急時の危機管理体制の拡充をはかること。
- ④ 空き家解消のために高家賃を引き下げること。



⑤ 264、赤羽台団地の建て替えについては、以下の点をURに求めること。

- ① 居住者、周辺住民など関係者の意見を反映すること。「高齢者にやさしいまちづくり」モデル地区にふさわしいまちづくり施策を推進すること。
- ② 24時間専門職LSAの複数配置のシルバーハウジング、単身高齢者対応住宅を計画化すること。
- ③ 高齢者交流サロン、高齢者あんしんセンターなどの介護施設や高齢者福祉施設をつくること。
- ④ 崖線の八重桜、右近桜などの保全や、児童遊園など身近な公園配置を含む、みどり豊かな住環境を拡充させること。
- ⑤ 36階建ての超高層建築を見直すこと。
- ⑥ 建物の除却・建設工事に関する騒音、振動、交通、アスベスト対策など、周辺住民や幼稚園、保育園、学校などに配慮した対応をすること。
- ⑦ 家賃特別減額措置制度を堅持し、若年層にも拡充すること。また、収入基準変更により、同団地内での家賃に格差が生じないようにすること。
- ⑧ 赤羽台東小学校跡地などには高さ規制をおこない、緑豊かな住環境地区、文教地区との調和をはかること。特養ホームなど高齢者向け介護福祉施設などへの活用をはかること。
- ⑨ 赤羽台西小学校の建て替えに必要な用地確保にむけ、URとの協議をおこなうこと。
- ⑩ 東洋大学のキャンパス構想は、樹木の復元や緑道公園を生かした計画とするよう要請すること。
- ⑪ 街路灯を整備すること。
- ⑫ (仮称)赤羽台もり公園整備については、ワークショップの意見を尊重すること。また、深井戸にかわる対策を含め、防災備蓄倉庫などの整備もすすめること。

2016.11.24. T-News No.1444.

日本共産党北区議員団は、10日、「十条のまちづくりを考える学習交流会」を開きました。野口まさと区議が進行役をつとめ、池内さおり衆議院議員、そねはじめ都議、党区議団が出席して、参加者と意見を交換し、運動を交流しました。

東京都と北区、JRは、多数の住民を立ち退かせ、催した「埼京線連続立体交差化に関する道路の都市計画決定を来年度にも強行しようとしています。」

東京都、北区、JRが開催した「埼京線連続立体交差化でおこなうことや、補助85号線(通称、区役所通り)を現在の幅員18メートルから30メートルに拡幅して商店街をこわす、都市計画決定を来年度にも強行しようとしています。」

十条まちづくりを考える

北区 共産党が学習交流会

2016年
12月11日

●ことし、
三宅島から
アシタバ
くさや
カサハラカ
ステレオ

青いアジの
すり身
椿油も
届きます。

第40回
年末恒例

桐ヶ丘バザー



多くの意見が出された学習交流会=10日、北区

画案住民説明会(10月14、15日)にはあわせて500人を超す住民が参加。「北区も議会もずっと地下化と言ってきたではないか」「どれだけ住民を追い出せば気がすむのか」と、怒りの声が続々とあがりました。

学習交流会で区議団とそね都議は、これまでの議会

この提案に対して、参加した商店主や住民から、「道路計画で商店街を壊すなど、商店街での定例宣伝や署名活動をつづけてきた。報告を聞いて計画の全ほうが見えてきた」「住民がもっと連帯してたたかっていることが必要だ」と意見や決意が出されました。

やがら「区議

論戦をふまえ、特定整備路線73号線計画、十条駅前西口再開発計画に加え、85号線拡幅や埼京線高架化計画などによって、十条のまちから住民や商店など500棟、2000人規模で立ち退きを迫られることになる」と告発。住民の声をくみあげたまちづくりとするため、「埼京線は地下化で」「付属街路計画は中止を」など5つの政策提案を発表しました。

<「東京民報」2016.11.20.号に掲載されました。>